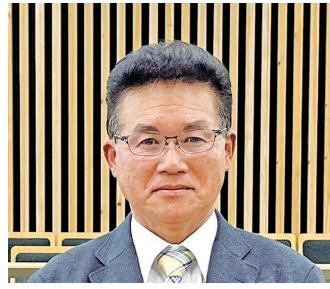


こぶしの閉鎖後の対応は

あつたかこぶしの機能拡充などで

また、今後佐賀地域の方がデイサービスを利用したい場合の対応をどのように行うか。



あおき ひろあき 青木 浩明 議員

答 野村健康福祉課長

問 社協に委託しているデイサービスセンターこぶしが本年3月末で閉鎖する。佐賀地域のデイサービスセンターは令和6年9月に鹿島ヶ浦が閉鎖しており、今回のこぶしの閉鎖により佐賀地域にはデイサービスセンターが一箇所も無くなる。

①要介護度の高い重度利用者の減少に伴い収益が減少し、今後も重度利用者の利用が見込めず経営改善が難しいこと。またこのまま継続すれば令和8年度途中で基金が尽きてしまい、他の事業所も廃止しなければいけないことから閉所の申し入れを受けた。町としてもこぶしのみに補助することは出来ず、本年3月末で5年間の指定管理が切れることに合わせて閉所する事になったものです。

②町内の他の事業所や

近隣市町村の事業所が受け入れ先になるが、あつたかふれあいセンターこぶしの機能を拡充して対応したい。また、新たに介護サービスを希望する方は、これまで同様に担当ケアマネージャーが調整することになる。

地域猫活動 TNR活動への町の対応は 団体枠を拡充

なっているか。

②改正された要綱によるTNR活動の住民ニーズは高い。町は今後どのような事業展開を考えているか。また、財源確保のためクラウドファンディングをやる予定はないか。

答 宮川 環境政策室長

問 町は昨年11月に地域猫の不妊去勢手術に関する要綱を改正して補助金の拡充を行った。なおTNR活動とは、飼い主のいない又は不明な猫を捕獲して不妊去勢手術を行い、捕獲した元の場所に返すことで増え過ぎる猫の頭数を抑制し、人間と猫との良好な関係を築く活動を言います

①過去3年と本年度の補助金の交付件数と実施頭数の推移はどのように

①令和4年度と6年度は件数・頭数とも無し、令和5年度は件数・頭数ともに4件です。本年度はメス猫のみを対象にしていた手術をオス猫にも拡充し、個人枠とは別に地域の皆さんが協力して行う地域猫活動を推進するため団体枠を設けました。これにより申請数が増え、本年度は個人枠が件数8件、頭数は33頭で、団体枠が件数2件、頭数は27頭になっています。

②一度に多くの不妊去勢手術が可能で繁殖抑制校が高い団体枠を推進していきたいと考えています。しかし、県内には移

動式の動物病院が一箇所しかなく、予約がなかなか取れない状況のため、団体枠を希望する地域の皆さんに早期の日程確保を依頼し、事業の確実な実施に繋げていきたいと考えています。なお、クラウドファンディングは今のところ考えていません。



捕獲した猫の体重測定



手術を行う動物病院カー